



芝山小だより



冬休み号

清瀬市立芝山小学校

校長 寺井 俊敬

<http://www.kiyose.ed.jp/>

冬休みだからこそできること

校長 寺井 俊敬

9月2日(月)から始まった2学期が本日で終わります。今学期は、運動会、音楽会、各学年の遠足や社会科見学がありました。そして、保護者の皆様には、前述の10月に行われた運動会、清瀬教育の日の他、11月に行われた音楽会も、久しぶりに人数制限なしで学校にお越しいただくことができました。その他にも、保護者・地域の皆様のご協力のもと、漢字検定、サタデースクール、花を植えようの活動の実施等の教育活動も行うことができました。大変嬉しいことです。いずれも保護者・地域の皆様のご協力もあり、子供たちにとって、達成感を味わいながら次の活動への意欲のもてるよい学びの機会となっています。感謝申し上げます。

これから冬休みになります。同じ休業日でも、冬休みは夏休みや春休みと少し様子が違います。それは休業期間中に新たな年を迎えるということです。ご家族で過ごす時間がより多くあることと思います。だからこそ、家庭教育の機会と捉え、冬休みを子供たちにどのように過ごさせるかを考えてはいかがでしょうか。冬休みだからこそできることを3つ挙げてみます。

1 大掃除をする

私が子供の頃は、親は障子の張り替えや台所の掃除、私や兄たちは仏壇の仏具を磨いたり、窓ふきしたりと、役割分担をしながら大掃除をしていたことを思い出します。ネットである会社の検索をすると、去年は大掃除をした人は約半数だそうで、今はひと昔前のような大掃除をするご家庭は少ないのかもしれませんが、それでも、自分の部屋の整理整頓をする、家で使わなくなったものを処分する等、普段は行わないようなことをしてみてもいいでしょうか。ぜひ、掃除が終わった後は子供たちに一言ねぎらいの言葉を掛けてほしいと思います。

2 家族で一緒に遊ぶ

今はデジタルの時代、コンピュータやスマホ、テレビゲームで遊ぶことができます。もちろん、新しいものには新しいよさがあります。一方、昔遊びのように、古いものには古いもののよさがあります。毎年、3学期になると1年生が、生活科で昔あそびを体験します。昔遊びというと、だるま落とし、けん玉の他にも、こま、凧揚げ、かるた等が思い浮かびますが、そういった遊びを通して、コミュニケーション力や、遊びによっては集中力、手先や身体の巧緻性といった力も高められるかもしれません。まもなくお正月です。お正月ということで、家族や親戚の方々が集まることあるでしょう。そのようなときに、日本人が大切にしてきた昔の習慣も残していきたいと考えます。時代は変わっても、子供たちには、昔遊びを少しでも味わってほしいと思っています。

3 1年の目標を立てる

新しい年、2025年を迎えます。少し遠いですが、大阪では万博が開催されます。また、スポーツでは、東京で初のデフリンピックが開催されます。1年のスタートです。「これはできるようになるまで頑張る」「これは最後までやり切る」といった目標について、ぜひ話し合ってみてほしいと思います。

本日、終業式で子供たちに、交通事故、不審者に注意することを話しました。また、困ったときには、近くの大人の人に相談するように話しました。3学期始業式、冬休みで成長した子供たちの元気な姿を見られることを楽しみにしています。1年間、本校の教育活動へのご理解とご協力に感謝申し上げます。どうぞよいお年をお迎えください。

(学校ホームページ「令和6年度校長室より」は、本日分掲載で、今年は最後です。2025年は、1月7日(火)から再開予定です。学校ホームページ「令和6年度校長室より」も、ぜひご覧ください。)